

—風水害への備え—

もしもの備えが いのちを守る

これからの時季、台風・豪雨による風水害が想定されます。これらの災害による被害を減らすには、日ごろからの備えが大切です。いつ災害が起きても慌てず対応できるように、一人一人が災害のリスクに向き合い、事前に準備しておきましょう。

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



SDGsの関連アイコンを特集ページに標記しています



災害リスクを 確認しよう

備えのためのハザードマップ

ハザードマップは、台風・豪雨などの災害が起こった時に被害が予想されるエリアや避難所などを地図上にまとめたもので、土砂災害警戒区域や浸水想定区域を確認することができます。4年3月に「狭山市水害ハザードマップ」を発行し、自治会などを通じて配布しています。

もしもの時、どうする？

災害の種類によって被害が想定される箇所は異なります。まずはハザードマップを見て自宅周辺の災害リスクを確認し、避難場所や避難ルートを事前に決めておきましょう。また、いざという時の集合場所や連絡手段などを、家族で共有しておきましょう。



▲ハザードマップはこちら





避難方法を

確認しよう

台風・豪雨による風水害では、自宅や職場で安全の確保が可能な場合、避難所へ避難する必要はありません。土砂災害や浸水リスクが高い場所に自宅がある場合は、避難所だけでなく、親戚や知人の家に避難することも検討しましょう。

家の中で避難！

在宅避難をする場合は、浸水や土砂災害の恐れがない場所へ移動しましょう。



在宅避難



自宅が頑丈な建物で、かつ浸水想定以上の高さがあり安全な場合は、建物の2階以上に避難するなど、自宅での避難を優先しましょう

親戚や知人宅へ避難



安全な場所にある親戚や知人宅など、普段に近い暮らしができる避難場所がないか検討しましょう

避難所へ避難



在宅避難や、親戚や知人宅への避難が難しい場合は、ためらわず避難所へ向かいましょう

家の外へ避難！

洪水や土砂災害時に大変危険な状況になることを想定し、早めに避難しましょう。



台風・豪雨の前に家庭でやっておこう

- 排水溝や側溝を掃除して、水はけをよくしておく
- 鉢植えや物干し竿など、飛ばされる恐れのあるものは家の中に入れておくか固定しておく
- 庭木や塀など、倒れそうなものは補強しておく

避難行動要支援者への支援

自力での避難や情報収集が難しい方(避難行動要支援者)には、地域の住民と市などが協力して避難支援を行っています。支援を希望する方は、事前に名簿登録が必要です。



詳細は市公式ホームページをご覧ください▶



自宅では

垂直避難

周囲が浸水している、浸水する可能性がある場合は自宅内のより高い所に移動しましょう。自宅の近くに崖がある場合は、家の中でも崖から離れた場所や上の階に移動しましょう。



停電、断水、ガスの停止に備えて

停電

LEDランタンや携帯ラジオ、モバイルバッテリーなどを、すぐに取り出せる場所に用意しておきましょう。電池の準備やモバイルバッテリーの充電も忘れずにおきましょう。



断水

浴槽やペットボトルに水をためるなど、水の確保をしましょう。



ガスの停止

カセットコンロなどを利用できるよう、準備しておきましょう。



避難所では

新型コロナウイルス感染症対策

避難所では「密閉・密集・密接」の3つの条件がそろいやすく、新型コロナウイルスの感染リスクが高くなるのが考えられます。市では、避難所での集団感染を防ぐために次のような対策を行います。

スペースの確保

体調不良の方専用のスペースやトイレを設けます。発熱や咳などの症状がある方は、他の避難者と動線や空間を分けます。

避難している方の体調管理

定期的に聞き取りによる健康チェックや検温を行います。

ペットの同行避難

飼い主とペットと一緒に避難所へ避難することができます。ただし、避難所には動物が苦手な方や動物アレルギーのある方もいるため、飼い主と別のスペースで過ごすことになります。ペットの避難用品などは、飼い主がご用意ください。



▲詳しくはこちら



避難情報などの 取得方法



防災行政無線

放送された内容は、電話や市公式ホームページで確認できます



▲詳しくはこちら

☎ 0120-81-3804



テレビ埼玉 「データ放送サービス」

インターネットが利用できない環境でも、緊急情報を文字で確認することができます



▲詳しくはこちら



メール配信サービス

狭山市の気象情報や避難に関する防災情報などを、事前に登録されたメールアドレスにお届けします



▲詳しくはこちら



緊急速報メール (エリアメール)

国からの警報、災害・避難情報を、市内の携帯電話に一斉配信します

狭山市公式SNS



ツイッター



フェイスブック



狭山市LINE
公式アカウント
ID:@citysayama



備蓄品



在宅避難が可能な場合、備蓄品は約1週間分(最低3日分)必要だといわれています。大規模災害時は、電気、水道、ガスといったライフラインは利用が困難になるだけでなく、スーパーやコンビニへ人が殺到し、食品や生活必需品を確保することが難しくなりますので事前に用意しておきましょう。

- ティッシュペーパー
- カセットコンロ、ボンベ
- 携帯トイレ



共通防災グッズ

- 飲料水
- 非常食
- 救急セット
- ウエットシート
- 口腔ケア用
ウエットティッシュ
- 携帯ラジオ
- モバイルバッテリー
- LEDランタン
- ポリ袋
- 新聞紙
- ラップ
- マスク

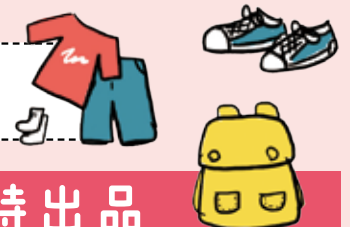


乳児がいる
家庭では…

- 粉ミルク・
液体ミルク
- 哺乳瓶
- おむつ
など



- 着替え、下着



非常持出品

避難所にある災害用の備蓄品は、種類や数に限りがあります。いざという時にすぐ持ち出せるよう、非常持出品を人数分用意しておきましょう。